

polk®

RESERVE™

OWNER'S MANUAL

R500, R600 AND R700
フロアスタンディングスピーカー

R300, R350 AND R400
センターチャンネルスピーカー

R100 AND R200
ブックシェルフスピーカー

POLK. EXPECT GREAT SOUND.®

目次

Expect Great Sound — Polk Reserveシリーズ	2
安全上の注意事項	3
梱包内容.....	4
システムへの接続方法.....	4
Reserveシリーズスピーカーの設置位置	5
Reserveシリーズスピーカーのお手入れ方法	6
仕様	7

Expect Great Sound — Polk Reserveシリーズ

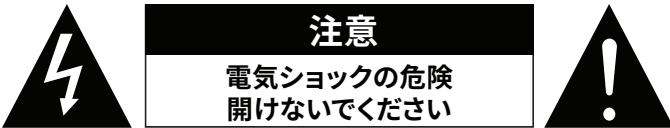
このたびは、Polk Reserveシリーズのスピーカーをお買い上げいただきありがとうございます。モダンなスタイルに、ポークのプレミアム・ピナクル・トゥイーターとタービン・ミッドレンジ・ドライバーを組み合わせることで、高解像度なディテールとイメージングを実現しました。緻密で深みのある豊かな低音で、全く新しいリスニング体験をお楽しみください。ピュアでミニマルなPolk Reserveシリーズは、あなたにより良いエンターテインメントをお届けするために設計されています。

Polk Audioは、45年以上にわたって素晴らしいサウンドの製品を生み出すメーカーとしての評判を築いてきました。Polkの特徴である優れたサウンドとビルドクオリティは、数々の特許取得技術と受賞歴を誇る革新的な技術によって支えられています。Polkにとって、オーディオ製品を作ることは単なる仕事ではありません。最高のサウンドを皆様にお届けしたいという情熱が、私たちが突き動かしているのです。

警告：音量にご注意ください

Polk Audioのスピーカーは非常に高い音量での再生が可能なため、深刻な後遺症となる聴覚の障害を引き起こす恐れがあります。Polk Audio, Inc.は製品の誤用を原因とする聴覚障害、身体の損傷または物損に関して責任を負いかねます。本ガイドラインにご留意いただき、適正なボリューム操作をお願いいたします。

- 85dBを超える音量での長時間のリスニングはお控えください。



注意

電気ショックの危険がありますのでカバー（または背面パネル）を取り外さないでください。ユーザーに有用な部品は内部にありません。資格のあるサービス担当者にサービスを依頼してください。



正三角形の中に矢印のついた雷があるマークは、絶縁されていない「危険電圧」が製品の筐体内にあり人体に電気ショックを与える危険があることを警告するものです。



正三角形の中に感嘆符があるマークは、操作およびメンテナンス（保守）に関する重要な指示が機器付属の文書に記載されていることを警告するものです。

重要な安全上の注意事項

1. 本説明書をお読みください。
2. 本説明書を保管してください。
3. すべての警告にご注意ください。
4. すべての指示に従ってください。
5. この装置は水に近づけないでください。
6. 清掃する際は乾いた布以外を使わないでください。
7. 通気口をふさがないでください。製造元の指示に従って設置してください。
8. ラジエーター、温風の送風口、ストーブその他の熱源（アンプを含む）の周囲に設置しないでください。
9. 製造元が指定した付属品・アクセサリ以外は使用しないでください。
10. カート、スタンド、三脚、ブラケットまたはテーブルは製造元が指定するものまたは装置と併売のものだけを使用してください。カートに装置を乗せて移動する際は転倒しないようご注意ください。
11. 修理が必要な場合はすべて資格のあるサービス担当者に依頼してください。電源コードやプラグが破損した、装置に液体が飛散したか物体が落下した、装置が雨や湿気に晒された、装置が正常に動作しない、または装置が落下したなどにより装置が損傷を受けた場合は修理が必要です。



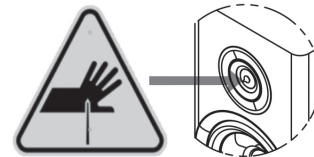
使用に関する注意

警告

- 高温を避けてください。ラックに設置する場合は十分な放熱経路を確保してください。
- ユニットに湿気、水、および粉塵がかからないようにしてください。
- 換気口をふさがないでください。
- 異物をユニットに入れないでください。
- 殺虫剤、ベンゼンおよびシンナーをユニットに接触させないでください。
- ユニットの分解や改造を行わないでください。
- 新聞、テーブルクロス、カーテンなどが換気口を覆って換気が不十分となることがないようにご注意ください。
- 点灯したろうそくなどの裸火をユニットの上に置かないでください。
- ユニットに液体がかからないようにしてください。
- 花瓶など液体を入れた物体をユニットの上に置かないでください。

注意:

スピーカーを開梱する際には注意してください。ツイーターの先端は尖っているため、怪我をする恐れがあります。使用していない時にはスピーカーグリルを装着してください



リサイクルに関する注意:

この製品の包装材は再生可能であり再利用できます。各地のリサイクル規制に従って包装材を廃棄してください。ユニットを廃棄する場合は各地の法令に従ってください。

梱包内容

次のものを同梱しています。

1. スピーカー
2. オーナーズマニュアル
3. グリル (磁力で取り付け)
(スピーカーケーブルは含まれていません)

システムへの接続方法

最高の音質を得るにはスピーカーを正しく配線することが重要です。

配線の準備

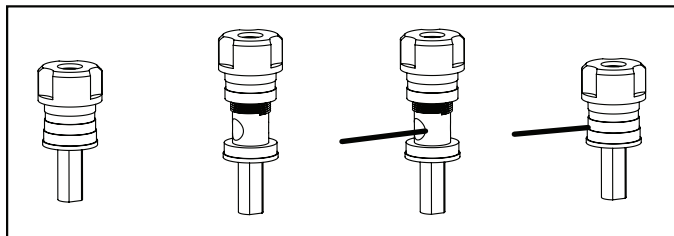
レシーバーまたはアンプの説明書に記載された指示に従って接続してください。ケーブルの2本の導線の絶縁被覆を先端から12mm切り取って金属部分を露出させ、各導線をよじって一本のより線にします。各スピーカーの背面にある端子のうち一方が赤色 (+) でありもう一方が黒色 (-) であることにご注意ください。アンプまたはレシーバーのプラス (+) 端子からスピーカーの赤色 (+) 端子にケーブルを接続し、アンプまたはレシーバーのマイナス (-) 端子からスピーカーの黒色 (-) 端子にケーブルを接続します。ほとんどのケーブルは極性を誤らないように2本の導線のうち片方に表示 (色コード、模様または文字) があります。

下記の推奨寸法はアンプやレシーバーから各スピーカーへの接続すべてが対象となります。

ケーブル長	最小ワイヤーゲージ
5mまで	16
5~15m	14
15~25m	12
25m以上	10

接続端子

接続端子にケーブルを接続するには、端子のキャップを外して端子の基底近くにある穴にケーブルの裸線を挿入します。絶縁被覆のある部分を挿入すると接続不良となるため挿入しないでください。ケーブルがしっかり固定されるまで端子のキャップを締め付けます (締めすぎないようにしてください)。

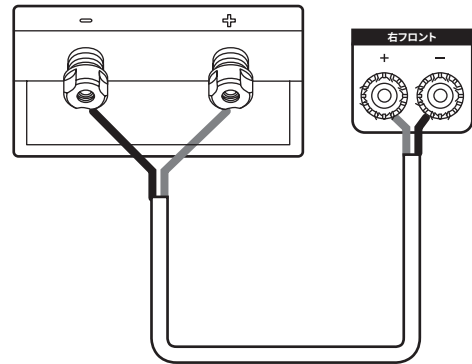


コネクター

スピーカーケーブル用コネクターには複数の選択肢がありますが、どれも好みのものをお選びください。一般に使用されるのはバナナプラグ、Yプラグ、裸線です。スピーカーの設置場所とシステムの構成が決まっており設置後に動かす予定がない場合は裸線が最適です。裸線のひげが互いに接触しないようにする点のみご注意ください。スピーカーの位置を様々に変えて試したい場合は、接続や取り外しが容易なYプラグやバナナプラグが便利です。

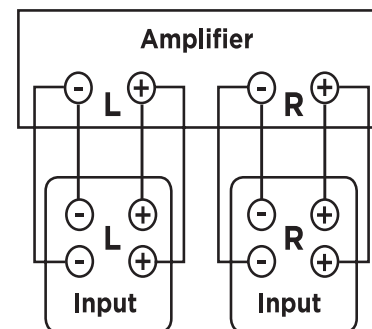
フロアスタンディングスピーカー、センタースピーカー、ブックシェルフスピーカー、ハイトモジュールスピーカーの基本配線

アンプまたはレシーバーの赤色 (+) 端子および黒色 (-) 端子からスピーカーの赤色 (+) 端子および黒色 (-) 端子にそれぞれケーブルを接続します。スピーカーからの出音が「薄い」と感じられる場合、低音が弱い場合、またはセンターの音像が小さいか音像がない場合はスピーカーケーブルの片方が逆に接続されています。すべての接続を再度ご確認ください。



バイワイヤリング (R700のみ)

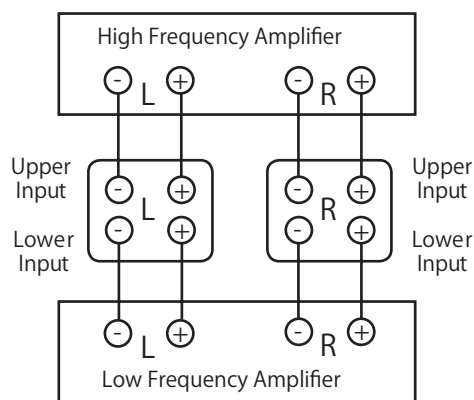
バイワイヤリングによりスピーカーの全体的な透明性が著しく向上する場合があります。ジャンパーを取り外し、一つのアンプから低周波ドライバーと高周波ドライバーにそれぞれ別のケーブルを接続します (接続端子のうち上の端子は高周波ドライバー用、下の端子は低周波ドライバー用です)。スピーカーケーブルのうち一組を各スピーカーの上部端子に接続し、もう一組を下部端子に接続します。両方のスピーカーケーブルの逆側をアンプの同じ出力に接続します。設定方法についてはアンプやAVレシーバーのユーザーマニュアルをご覧ください (図1)。



(図1)

バイアンプ (R700のみ)

バイアンプ接続を使用することにより、スピーカーの高周波セクションと低周波セクションに別のアンプを使用してダイナミックレンジを拡大し歪みを減少させることができます。スピーカーの音響バランスを維持するため、ゲインが同一のアンプの使用をお勧めします。ジャンパーを取り外し、ケーブルを高周波アンプ出力から各スピーカーの接続端子のうち上の端子に接続します。同様に、ケーブルを低周波アンプ出力から各スピーカーの接続端子のうち下の端子に接続します (図2)。配線の極性が正しいこと (+から+へ、-から-へ) を確認してください。設定方法についてはアンプやAVレシーバーのユーザーマニュアルをご覧ください。



(図2)

低域管理

ホームシアターで低域管理機能のあるレシーバーまたはプロセッサを Reserveシリーズのスピーカーと併用する場合は次の設定を推奨します。

R500、R600、R700：サブウーファーを使用する場合は「小」に設定し、クロスオーバー周波数を40～80Hzに設定します。システムにサブウーファーがない場合は「大」に設定します。

R100、R200：サブウーファーを使用する場合は「小」に設定し、クロスオーバー周波数を50～80Hzに設定します。

R300、R350、R400：サブウーファーを使用する場合は「小」に設定し、クロスオーバー周波数を60～80Hzに設定します。

R700スピーカーの位相について (R700のみ)

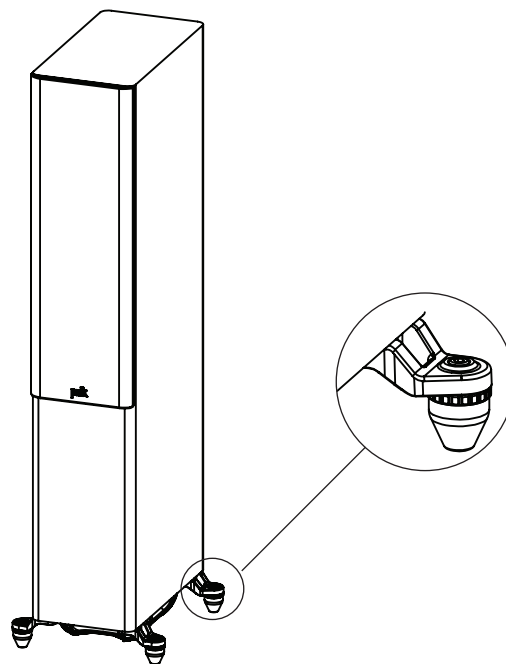
R700スピーカーのウーファーはPolkの理想とする音響特性を再現するため、ウーファーのみ逆相接続されています。そのため、AVアンプの音場補正機能による測定時に、「フロント右：逆位相」等のエラー表示 (メーカーにより異なります。) が出るがありますが、これは不具合ではなく、製品の仕様 に即した正常な動作ですので、AVアンプの設定やスピーカーケーブルの接続を変更する必要はありません。

ゴム足と調節可能なフロアスパイク

Reserveフロアスタンディングスピーカーに付属するゴム足とフロアスパイクを使えば、どのような種類の床にもスピーカーを固定して安定させることができます。ゴム足を取り外せばスパイクが露出します。フロアスパイクは調整することができます。調整は両手で行う必要があります。

注：スピーカーが床面上で安定している場合、調整は必要ありません。スピーカーが不安定な場合は次の手順に従って調整してください。

1. スピーカーの重量は4本のスパイクのうち3本にかかり、残りの1本は床面からわずかに離れます。
2. 調整が必要なスパイクを決定します。
3. 六角レンチを使用して、スパイクを下げる場合は時計回りに、上げる場合は反時計回りに回します。
4. スパイクが床面に接触するとそれ以上回しにくくなります。この段階でスピーカーは安定しています。
5. ロックリングを締め、スパイクが緩まないようにします。



Reserveシリーズスピーカーのお手入れ方法

エンクロージャーの外装

Reserveスピーカーの外装はPVC製です。パネルの清掃には柔らかい乾いた布を使用してください。必要に応じて、家具用つや出し剤を使用できます。作用の強い洗剤や洗浄液は使用しないでください。

注：スピーカーのキャビネットには石油ベースのクリーナーや溶媒を使用しないでください。

バッフルの埃取り

グリルやバッフルの埃はエアードスターで落としてください。グリルにはパソコンキーボード用卓上掃除機も使えます (バッフルには使わないでください)。

Reserveシリーズスピーカーの設置位置

R300、R350、R400センターチャンネルスピーカーの推奨設置位置

センターチャンネルスピーカーの最も一般的な設置位置はテレビの下です。センターチャンネルスピーカーはテレビの上に置くこともできます。R400センターチャンネルスピーカーは重量が大きいため壁面への取り付けは推奨しません。R350は内蔵キーホールスロットを使用して壁面に取り付けるか、または台やセンターチャンネルスタンドの上に設置することができます。R350は左右のフロントスピーカーとして利用することもできます。左右として使用する場合は、テレビの左右にR350スピーカーを縦に設置する必要があります。スピーカーの取り付けには、付属の壁面取り付けテンプレート（R350のみ）をご利用ください。スピーカーシステムから最大限のサウンド品質を引き出すには、正しい設置位置が重要です。

注意：R350のサラネットのロゴは、磁石で取り付けられています。左または右のフロントスピーカーとしてご利用になる場合は、センターチャンネルの位置から取り外して、グリルの右端または左端に取り付けることができます。

注：Reserveシリーズのスピーカーは、2.0ch、2.1ch、3.1ch、5.1ch、7.1ch、9.1chサラウンドセットアップおよびすべてのDolby Atmosセットアップ（5.1.2ch、5.1.4ch、7.1.4ch、7.1.6chなど）と互換性があります。

5.2chサラウンドでのリスニング

ReserveシリーズスピーカーはPolk Audioホームシアターシステムのサラウンドスピーカーとして使用できます。チャンネルサラウンドスピーカーは側壁面に沿ってリスニングポジションからわずかに背後上部の位置に配置するのが理想的です。

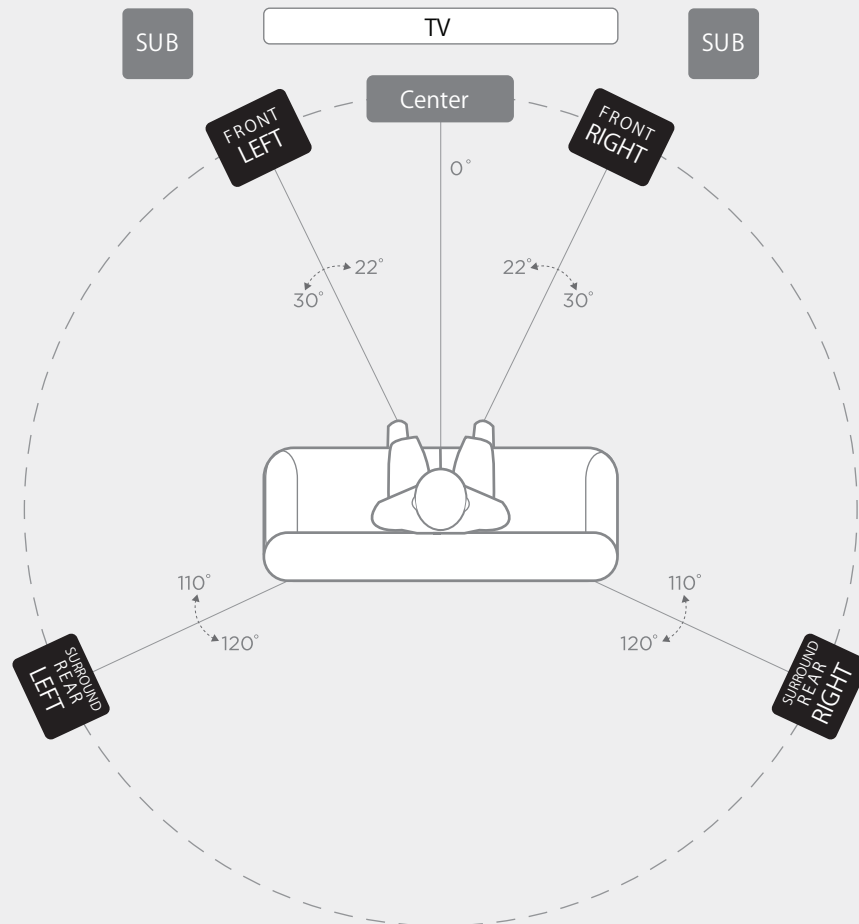
注：サラウンドスピーカー側壁面に沿った位置に配置できない場合は、背壁面に沿った場所のリスニングポジションより高い位置に配置してください。

7.1chサラウンドでのリスニング

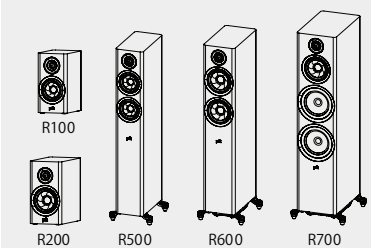
サラウンドスピーカーを2本から4本に増やすことでサラウンドサウンドの深みを増やすことができます。

5.2 Configuration

スピーカー設置の推奨ポジション



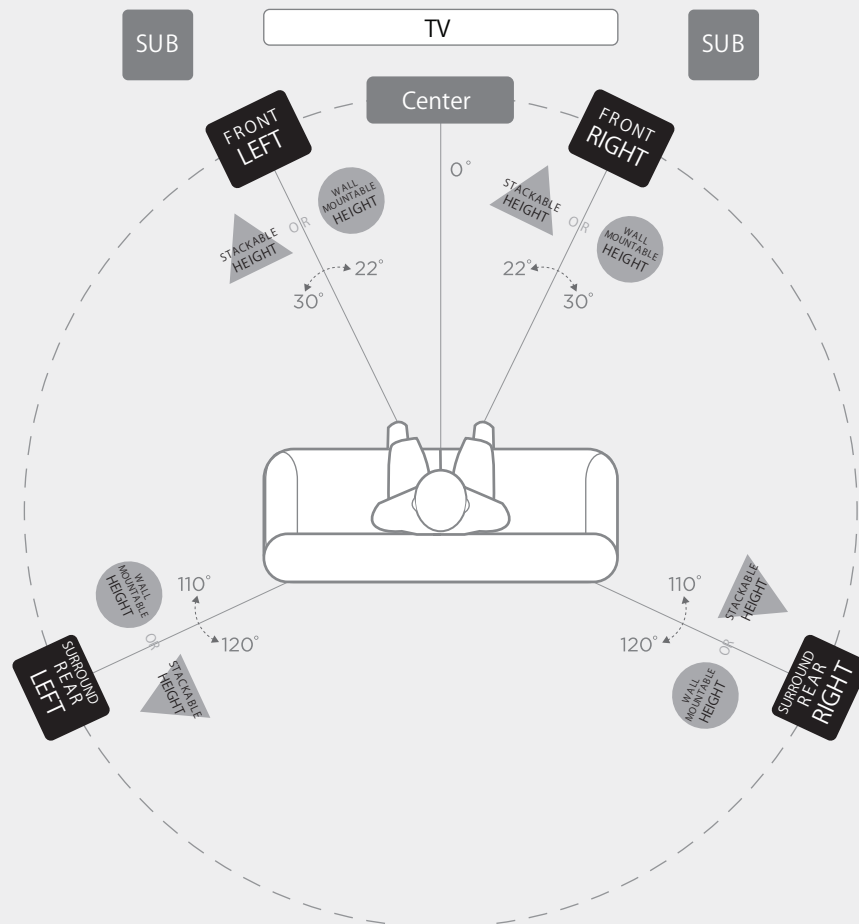
サラウンドシステムの基本スピーカー（フロントL/R、サラウンドL/R）には下記のモデルを推奨します。



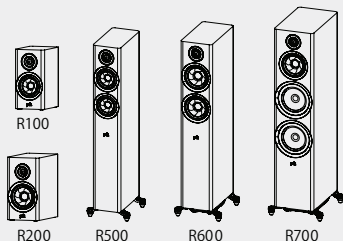
PRIMARY

DOLBY ATMOS® 5.2.4 Configuration

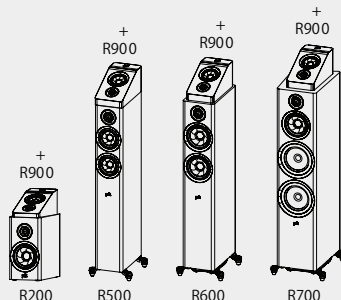
スピーカー設置の推奨ポジション



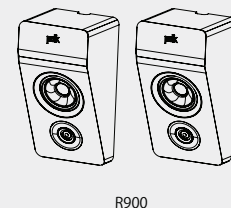
サラウンドシステムの基本スピーカー (フロントL/R、サラウンドL/R) には下記のモデルを推奨します。



スタックタイプのハイトスピーカーには下記の組み合わせを推奨します。



ウォールマウント (壁掛け) 対応のハイトスピーカー



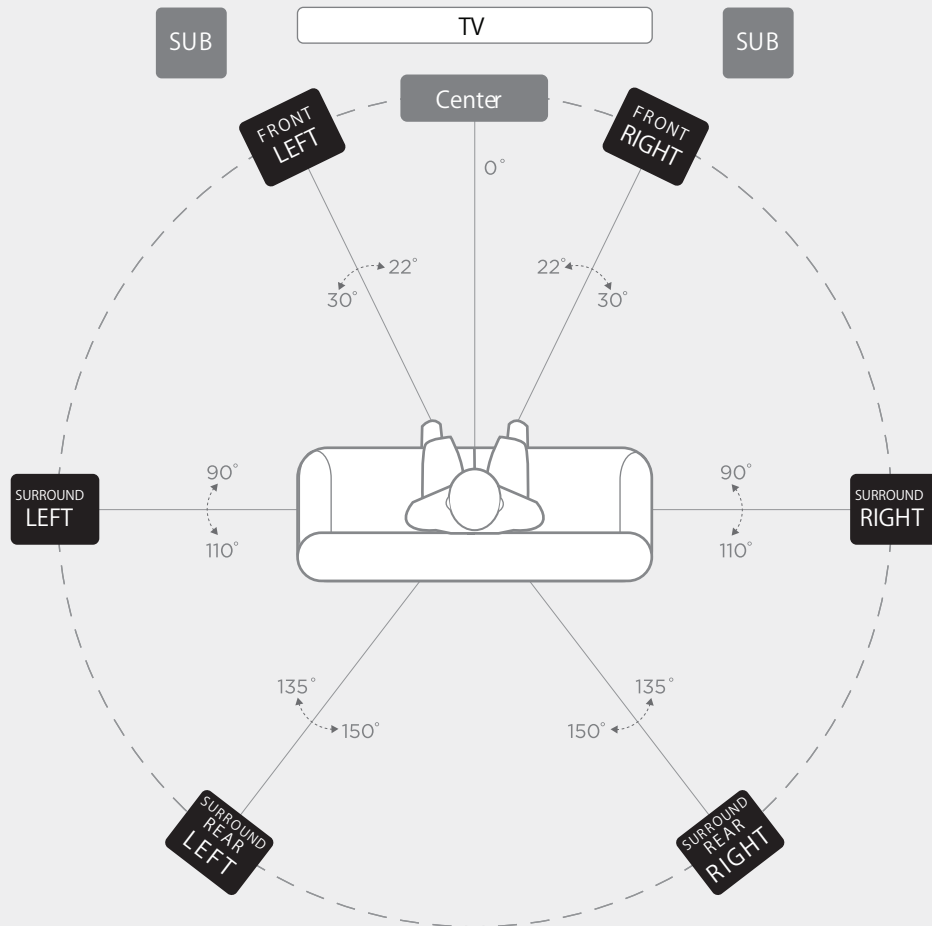
PRIMARY

STACKABLE HEIGHT

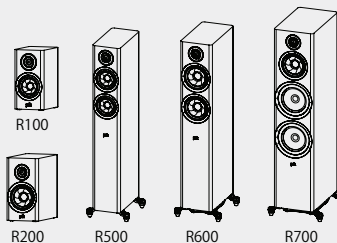
WALL MOUNTABLE HEIGHT

7.2 Configuration

スピーカー設置の推奨ポジション



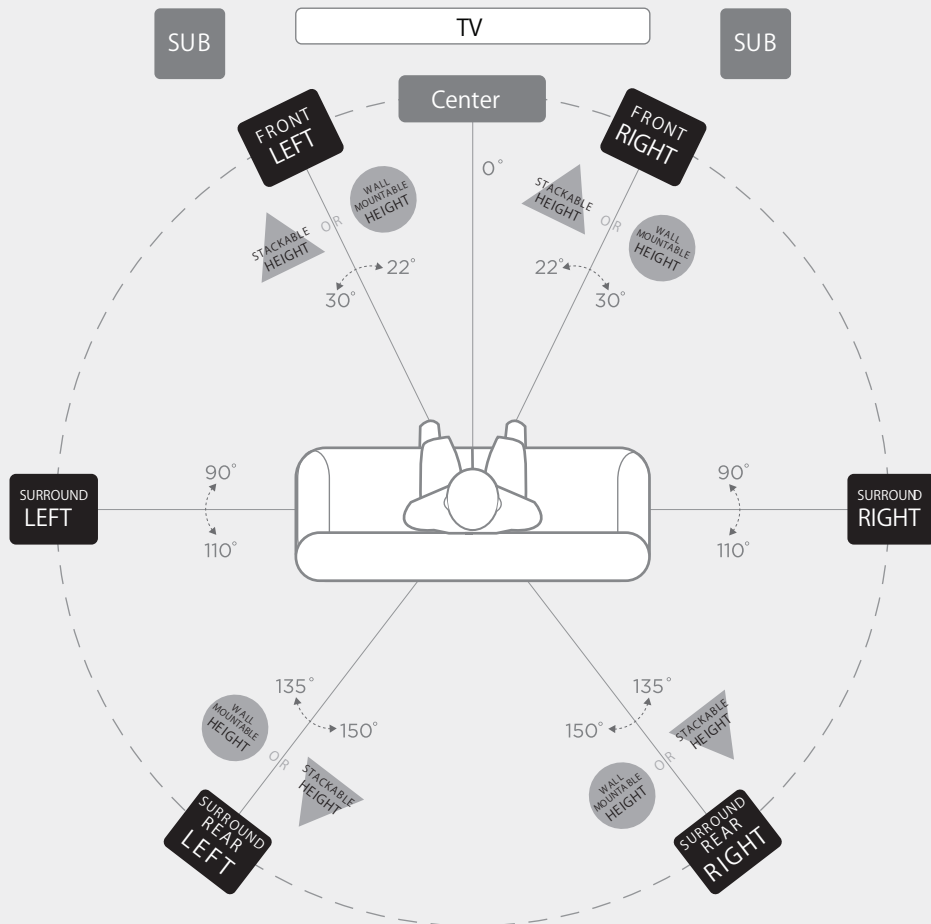
サラウンドシステムの基本スピーカー（フロントL/R、サラウンドL/R、サラウンドリアL/R）には下記のモデルを推奨します。



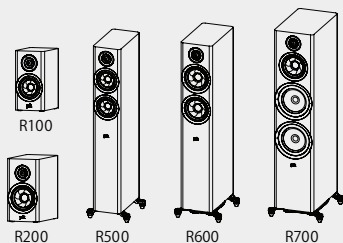
PRIMARY

DOLBY ATMOS® 7.2.4 Configuration

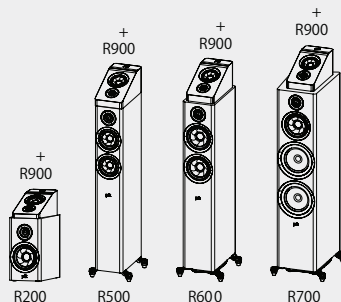
スピーカー設置の推奨ポジション



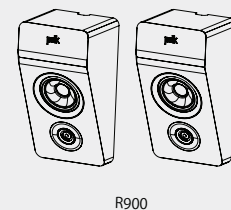
サラウンドシステムの基本スピーカー（フロントL/R、サラウンドL/R、サラウンドリアL/R）には下記のモデルを推奨します。



スタックタイプのハイトスピーカーには下記の組みあわせを推奨します。



ウォールマウント（壁掛け）対応のハイトスピーカー



PRIMARY

STACKABLE HEIGHT

WALL MOUNTABLE HEIGHT

フロアスタンディングスピーカー

Reserveシリーズの仕様	R500	R600	R700
ツイーター	1インチ (25ミリ) ピナクルリングラジエーター	1インチ (25ミリ) ピナクルリングラジエーター	1インチ (25ミリ) ピナクルリングラジエーター
ミッドレンジ/ミッドバス	5-1/4インチ (133ミリ) タービンコーン×2	6.5インチ (165ミリ) タービンコーン×2	6.5インチ (165ミリ) タービンコーン
ウーファー/サブウーファー	--	--	8インチ (203ミリ) ウーファー×2
オーバーオール周波数特性	32Hz~50kHz	30Hz~50kHz	30Hz~50kHz
周波数特性 (-3dB限界)	49Hz~38kHz	38Hz~38kHz	38Hz~38kHz
推奨アンプ出力	25~200W	25~200W	20~300W
最小インピーダンス	3.9Ω	4.0Ω	3.6Ω
感度 (2.83V/1m)	87dB	87.5dB SPL	88dB SPL
クロスオーバー周波数			
ツイーター/ミッドレンジ	2500Hz	2700Hz	2700Hz
ミッドレンジ/ミッドバス	--	--	350
寸法および重量属性			
製品寸法 (W×H×D) (全体の最深部、グリル)	256×1045×349mm	281×1064×382mm	330×1144×429mm
製品重量	17.7kg	21.5kg	35.9kg
梱包重量	22.5kg	26.4kg	42.8kg
筐体			
ミッドレンジエンクロージャータイプ	--	--	密閉型
ミッドバス/ウーファーエンクロージャータイプ	背面、X-Port	底面、Power Port 2.0	底面、Power Port 2.0
仕上げ	ブラック/ブラウン	ブラック/ブラウン	ブラック/ブラウン
足	スパイクおよびゴム足	スパイクおよびゴム足	スパイクおよびゴム足
接続端子	シングル、ニッケルめっき	シングル、ニッケルめっき	デュアル、ニッケルめっき
認証 (安全性および規制以外)			
ハイレゾ認証	あり	あり	あり
IMAX認証	あり	あり	あり

* 製品の仕様及び外観は改良のため、一部変更させていただくことがあります。

センターチャンネルスピーカー

Reserveシリーズの仕様	R300	R350	R400
ツイーター	1インチ (25ミリ) ピナクルリングラジエーター	1インチ (25ミリ) ピナクルリングラジエーター	1インチ (25ミリ) ピナクルリングラジエーター
ミッドレンジ/ミッドバス	5.25インチ (133ミリ) タービンコーン×2	4インチ (102ミリ) タービンコーン×4	6.5インチ (165ミリ) タービンコーン×2
ウーファー/サブウーファー	--	--	--
オーバーオール周波数特性	45Hz~50kHz	50Hz~50kHz	36Hz~50kHz
周波数特性 (-3dB限界)	65Hz~38kHz	75Hz~38kHz	48Hz~38kHz
推奨アンプ出力	30~200W	25~200W	20~200W
最小インピーダンス	3.8Ω	3.9Ω	4.1Ω
感度 (2.83V/1m)	86.5dB	87dB SPL	89dB SPL
クロスオーバー周波数			
ツイーター/ミッドレンジ	2200Hz	2700Hz	2500Hz
ミッドレンジ/ミッドバス	--	1400	--
寸法および重量属性			
製品寸法 (W×H×D) (全体の最深部、グリル)	483×172×227mm	762×141×188mm	615×197×350mm
製品重量	7.6kg	9kg	14.9kg
梱包重量	9kg	10.8kg	17.9kg
筐体			
ミッドレンジエンクロージャータイプ	--	--	--
ミッドバス/ウーファーエンクロージャータイプ	密閉型	密閉型	背面、デュアルX-Port
仕上げ	ブラック/ブラウン	ブラック/ブラウン	ブラック/ブラウン
足	ゴム足	ゴム足	ゴム足
接続端子	シングル、ニッケルめっき	シングル、ニッケルめっき	シングル、ニッケルめっき
認証 (安全性および規制以外)			
ハイレゾ認証	あり	あり	あり
IMAX認証	なし	なし	あり

* 製品の仕様及び外観は改良のため、一部変更させていただくことがあります。

ブックシェルフスピーカー

Reserveシリーズの仕様	R100	R200
ツイーター	1インチ (25ミリ) ピナクルリングラジエーター	1インチ (25ミリ) ピナクルリングラジエーター
ミッドレンジ/ミッドバス	5.25インチ (133ミリ) タービンコーン	6.5インチ (165ミリ) タービンコーン
ウーファー/サブウーファー	--	--
オーバーオール周波数特性	44Hz~50kHz	39Hz~50kHz
周波数特性 (-3dB限界)	58Hz~38kHz	51Hz~38kHz
推奨アンプ出力	30~150W	30~200W
最小インピーダンス	3.6Ω	3.8Ω
感度 (2.83V/1m)	86dB SPL	86dB SPL
クロスオーバー周波数		
ツイーター/ミッドレンジ	2700Hz	3000Hz
ミッドレンジ/ミッドバス	--	--
寸法および重量属性		
製品寸法 (W×H×D) (全体の最深部、グリル)	166×324×260mm	190×359×354mm
製品重量	5.5kg	8.7kg
梱包重量	12.9kg	19.7kg
筐体		
ミッドレンジエンクロージャータイプ	--	--
ミッドバス/ウーファーエンクロージャータイプ	背面ETFポート	背面ETFポート
仕上げ	ブラック/ブラウン/ホワイト	ブラック/ブラウン/ホワイト
足	ゴム足	ゴム足
接続端子	シングル、ニッケルめっき	シングル、ニッケルめっき
認証 (安全性および規制以外)		
ハイレゾ認証	あり	あり
IMAX認証	なし	なし

* 製品の仕様及び外観は改良のため、一部変更させていただくことがあります。

5年間製品保証

株式会社ディーアンドエムホールディングスは、Polk Audioのスピーカー製品について、5年間の製品保証を行います。詳しい保証規定については、添付の保証書の記載内容をご参照ください。



株式会社 デイアンドエムホールディングス

〒210-8569

神奈川県川崎市川崎区日進町2番地1 D&Mビル

当社製品のご相談と修理についてのお問い合わせは、お買い上げ店または下記窓口にご連絡ください。

お客様相談センター

☎ 0570 (666) 112 または
050 (3388) 6801

FAX : 044 (330) 1367

- 受付時間 10:00 ~ 18:00 (当社休日および祝日を除く、月~金曜日)
- お問い合わせをいただく前に、ホームページのFAQをご確認ください。
- メールでお問い合わせをいただくこともできます。
<https://jp.polkaudio.com/contact-us>

* 電話番号・ファックス番号・URLは変更になる場合があります。

修理相談窓口

☎ 0570 (666) 811

■ 受付時間 9:30 ~ 12:00、13:00 ~ 17:30
(当社休日および祝日を除く、月~金曜日)

■ 上記番号をご利用いただけない場合 ☎ 0466 (86) 9520

■ 故障・修理・その他のサービス関連情報については、次の当社ホームページでもご確認いただけます。
<https://jp.polkaudio.com/>

■ 代表修理窓口
首都圏サービスセンター
〒252-0816 神奈川県藤沢市遠藤 2010-16
FAX : 0466 (86) 9522

* デイアンドエムホールディングス本社では製品の修理を受け付けておりません。お持ち込みいただいても受け取ることができませんのでご了承ください。